

『たのしいギター』

中部日本ギター協会理事 榎本和俊先生

『魅力ある音色 ”クラシックギター”』

「帽子って、皆さんが想像するよりずっと簡単に、しかも少ない布、余り布からも作ることができるんですよ。身近なおしゃれや実用のアイテムとして楽しく作ってほしいですね。」明るく話して下さる高橋先生。

柔らかな心地よい弦の響き、これがクラシックギターの音色。映画音楽の「ひまわり」の合奏から講座が始まります。

先生をつとめるのは榎本和俊先生。中学の頃、ギター教室に通う兄にあこがれ、弾きはじめてのがギターとの出会い。高校の頃までは、独学でひたむきにギターを弾く日々。ある日ギターを先生に習っている方々の演奏を聴き、歴然とした自分との実力差にショックを受け、この頃から2人のギターの先生に師事。24歳の頃からは指導者として教える立場になり、現在に至っています。

現在では、南大高をはじめ中日文化センター4会場、また地元の中学校で非常勤講師もつとめていらっしゃいます。

「特に中日文化センターの受講生さんは、教室の雰囲気も良く、熱心で、教え甲斐があります。」と、先生の笑顔がほころびます。



初心者の方は単旋律「ドレミ～」から始め「かえるの合唱」を弾けるようにします。練習曲から発展し、コードが弾けるように講座の中で学んでいきます。先生のモットーとしては、『弾きたい曲を楽しく弾く！』こと。

興味を持たれている方へ、先生よりひと言！
～ギターの世界へ気軽に飛び込んでみませんか～

※なお、ギター講座は老若男女問わず受講生を受け入れています。